

臨地実習（感染看護学 / 高度実践コース）

[実習] 後期 必修 90時間 2単位

《担当者名》 塚本 容子 [yokot88@hoku-iryo-u.ac.jp]
山田 拓[yamada_k@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

感染症看護専門看護師が所属する施設において、専門看護師の6つの役割（実践、相談、調整、倫理調整、教育、研究）がどのように臨床現場で発揮されているのか、高度実践看護師の活動を通じて理解を深める

【学修目標】

- 1) 感染症看護専門看護師の実践について、臨床推論をどのように用いて実践を行っているのか理解できる
- 2) 感染症看護専門看護師がどのように所属している施設のニーズを把握し、感染予防・管理活動を計画し、実施しているのか理解する
- 3) 身体的・心理社会的に複雑な課題をもつ易感染患者及び感染症を持つ患者に対して、包括的なアセスメントがどのように行われ、生活の質を低下させないような治療選択がどのように行われているのか検討することができる
- 4) 高度実践看護師の役割開発のために、今後の自身の課題について明確にし、どのように取り組むのか考察できる

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	臨地実習	1) 高度実践看護師としての自身の学習課題を明確にし、実習目標を到達できるように、実習計画を立案する。 2) 実習指導者及び教員の助言を得ながら、実習計画に基づき、実習する 3) 実習内容及び学びについて、日々実習記録に整理し、実習指導者から助言を得る 4) 実習課題の達成を図るために、実習の中間において、実習指導者、教員、学生でカンファレンスを設ける。カンファレンスに当たっては、学生は実習課題に関する資料を作成する 5) 実習終了後には、実習課題の到達度について、課題レポートを作成する 【実習期間】 おおむね2週間 但し、集中実習か分散実習かについては、学生の実習課題や学習状況により相談、決定する	塚本 山田
	実習場所	北見赤十字病院、斗南病院	

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

実習評価表（40%）、報告書・レポート及びプレゼンテーション（60%）を総合して、評価

【学修の準備】

必要な文献・資料等に目を通しておくこと